

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表平7-505339

第2部門第3区分

(43)公表日 平成7年(1995)6月15日

(51)Int.Cl.  
B 25 C 5/02  
B 27 F 7/11

識別記号 庁内整理番号  
Z 9136-3C  
9422-3C

F I

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全6頁)

(21)出願番号 特願平5-517350  
(86)(22)出願日 平成5年(1993)2月26日  
(85)翻訳文提出日 平成6年(1994)10月7日  
(86)国際出願番号 PCT/SE93/00164  
(87)国際公開番号 WO93/19898  
(87)国際公開日 平成5年(1993)10月14日  
(31)優先権主張番号 9201094-1  
(32)優先日 1992年4月7日  
(33)優先権主張国 スウェーデン(SE)

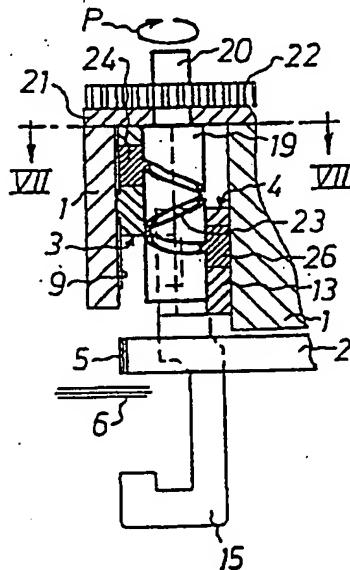
(71)出願人 イサベルク・エービー  
スウェーデン國、エス-330 27 ヘスト  
ラ、ボックス 115  
(72)発明者 エリクソン、スティグ  
スウェーデン國、エス-330 27 ヘスト  
ラ、アルラベーゲン 4  
(74)代理人 弁理士 鈴江 武彦 (外3名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】ステープラの打ち込み機構

(57)【要約】

ステープル(5)を目的物(6)に打ち込むためのステープラが、フレーム(1)、フレーム内に配置され、ステープル(5)を有するマガジン(2)及びステープル(5)をマガジン(2)から押出して、それらを目的物(6)へ打ち込み、この目的のために打ち込み機構によって往復運動させられるように適用される打ち込み要素(3)とを有する。打ち込み機構は、フレーム(1)に回転可能なように装着され、その周囲の表面に無終端の溝(23)を有する打ち込み円柱(19)を具備する。溝(23)は起点から、そこから軸方向に間隔が開けられた折り返し点へほぼ螺旋型で延在し、それから起点へほぼ螺旋型で戻る。溝(23)は打ち込み要素(3)に連結される溝従動体(24)を収容して、打ち込み円柱(19)の回転の際に、打ち込み要素を往復運動させる。



BEST AVAILABLE COPY

特表平7-505339 (2)

4. 構(23)が打ち込み円柱(19)の周りに数周に亘って延在していることを特徴とする請求項1或いは2の何れか1項記載の打ち込み機構。

請求の範囲

1. 紙シートの束のような目的物(6)にステーブル(5)を打ち込むためのステーブラの打ち込み機構で、前記ステーブラはフレーム(1)と、このフレーム内に配置され、ステーブル(5)を有するマガジン(2)と、このマガジン(2)からステーブル(5)を押出して、それを目的物(6)へ打ち込み、この目的のために、打ち込み機構によって往復運動させられるように適用される打ち込み要素(3)とを有する、打ち込み機構であり、フレーム(1)に回転可能なように装着され、その周囲の表面に於て起点(11)から、そこから軸方向に間隔が開けられた折り返し点(12)までほぼ螺旋型で延在し、それから起点(11)までほぼ螺旋型で戻る無枝端の溝(23)を有する打ち込み円柱(19)を具備し、前記溝は打ち込み要素(3)に連結されて、打ち込み円柱(19)の回転の際に、打ち込み要素を往復運動させる消從動体(24)を収容することを特徴とする打ち込み機構。
2. 溝(23)が、折り曲げ機構を作動させるための往復運動可能な作動部材のような第2の往復運動可能な要素(4)に連結される第2の消從動体(26)を収容して、打ち込み円柱(19)の回転の際に、打ち込み要素(3)の往復運動と共同する前記第2の要素(4)の往復運動を生じさせることを特徴とする請求項1記載の打ち込み機構。
3. 溝(23)が打ち込み円柱(19)の周りに1周に亘って延在していることを特徴とする請求項1或いは2の何れか1項記載の打ち込み機構。

明細書

ステーブラの打ち込み機構

本発明は、フレームと、そのフレームの中に配置され、且つステーブルを有するマガジンと、マガジンからステーブルを押出し、それらを目的物の中へ打ち込み、この目的のために打ち込み機構によって往復運動させられるのに適用される打ち込み要素とを有する、紙シートの束のような、目的物にステーブルを打ち込むためのステーブルの打ち込み機構に関する。

この型の従来の技術のステーブラでは、打ち込み機構は、伝送装置を介して電気モータによって駆動されるホイール、及び一方の端部に打ち込み要素を支持するレバーから構成される。ホイールは、他方の端部に溝と係合する偏心ピンを有して、ホイールが回転させられる時、レバーを前後に回動して、打ち込み要素を往復運動させる。この打ち込み機構はかなり嵩張り、継着し難い。更に、それは単一の往復運動可能な要素(打ち込み要素)をただ打ち込むためだけに使用され得る。従って、U型のステーブル用のステーブラでは、ステーブルを曲げ(折り返し)終わった後に、その全長に亘って均一の厚さを有するように折り曲げ機構、即ちステーブルの脚部を曲げる機構を作動させると作動部材を往復運動させるための別の駆動機構を具備する。

本発明の目的はこれらの欠点を克服することと、より少ない空間を必要とし、操作し易いものであり、且つ打ち込み要素と折り曲げ機構を作動するための作動部材のような別の往

復運動可能な要素との両方を往復運動させるためにも使用され得る単純な打ち込み機構を提供することである。

この目的は、明細書の導入部分で述べられた型であり、且つそれがフレーム内で回転可能なように装着され、その周囲の表面に於て、起点から、そこから軸方向に間隔が開けられている折り返し点まで、ほぼ螺旋型に延在し、そしてそれから起点へほぼ螺旋型の戻る無枝端の溝であり、打ち込み要素に連結されて、打ち込み円柱の回転の際に、打ち込み要素を往復運動させる消從動体を収容する溝を有する打ち込み円柱を具備することを特徴とする打ち込み機構によって具現される。

好みしい実施例に於て、溝は折り曲げ機構を作動するための往復運動可能な作動部材のような、第2の往復運動可能な要素に連結される第2の消從動体を収容して、打ち込み円柱の回転の際に、打ち込み要素の往復運動と共同する前記第2の要素の往復運動をもたらす。

溝は打ち込み円柱の周りで1周以上延在する。

本発明は、ここで添付の図面に関してより詳細に説明されるであろう。

図1は、本発明の第1位置にある打ち込み機構を装備したステーブラの一部を示す断面図である。

図2は、図1の類似するが、図1に対して約180°回転させた第2位置にある打ち込み機構である。

図3は、図1に類似するが、図2に対して約180°回転させた第3位置にある打ち込み機構である。

図4は、図1に類似するが、図3に対して約45°回転させた第4位置にある打ち込み機構である。

図5は、図1に類似するが、図4に対して約45°回転させた第5位置にある打ち込み機構である。

図6は、図1に類似するが、図4に対して約90°回転させた第6位置にある打ち込み機構である。

図7は、図1のねVII-VIIに沿って採られた拡大断面図である。

図8は、打ち込み機構によって往復運動可能な打ち込み要素を示す断面図である。

図9は、打ち込み機構によって往復運動可能な作業部材を示す側面図である。

図10は、打ち込み機構、更に加えて打ち込み要素、及び作業部材とを組成する打ち込み円柱を示す分解図である。

図1に部分的に示されるステーブラは、固定フレーム1、その中に配置されるマガジン2、打ち込み要素3、及び折り曲げ機構(図示されていない)を作動させるための作動部材4を有する。折り曲げ機構は発明の部分でないので、ここではより詳細に示されない。これに関連する型の折り曲げ機構は、台湾特許出願に於て説明され、且つ示される。

マガジン2は、このマガジン内で互いに近接して配置され、ステーブルの水平方向の列を形成するU型のステーブルを収容する。打ち込み要素3は、ステーブルの列の中で最前端のステーブル5をマガジン2から押出して、その脚部をステーブラに配置された紙シートの束6を貫通させて打ち込むため

に垂直方向に変位可能である。作業部材4は、打ち込み要素3の動きによる折り曲げ機構の作業と共に垂直方向に変位可能である。

打ち込み要素3及び作業部材4は下記でより詳細に説明されるであろう本発明の打ち込み機構によって駆動される。

打ち込み機構3は、フレーム1の垂直方向の凹み8の中で摺動可能で変位可能なプラスチック材料のブロック7と、板金プレートの形状をしており、且つブロック7上に形成され、その板金プレート内の底め合せ凹部11へ向って延在しているラグ10によってブロック7に固定される打ち込み体9とから構成される。ブロック7は打ち込み体9に反対側に半円型断面の垂直方向の凹み12を有する。

作業部材4は、フレーム1の垂直方向の凹み14の中で摺動可能で変位可能であり、ほぼU型の断面を有するプラスチック材料の本体13と、夫々が各U一脚部上に形成され、作業腕部15の底め合せ凹部11内へ延在しているラグ16によってU型本体の1つの脚部上に夫々固定される板金プレートの形状の2本の作業腕部15とから構成される。そのウェップ部分に於て、本体13は半円型断面の垂直方向の凹み18を有する。本体13のウェップ部分は、その中に凹み12が形成されているブロック7の側部と係合し、その結果凹み12は、ウェップ部分に形成される凹み18と一緒に、円型断面を有する誘導チャンネル12、18を形成する。こうして本体13の脚部はブロック7の向い合う脚部と係合する。(図7参照)。

打ち込み機構は垂直方向の軸を有する打ち込み円柱19を具

備する。打ち込み円柱19は、フレーム1上に固定されるブレート21を通り抜けて延在し、このブレートに回転可能に嵌着される上方のジャーナル20を有する。ジャーナル20は、その自由端部で、伝導装置(図示されていない)を経由して電気モーター(図示されていない)によって矢印Pの方向に回転可能な歯車22に回転できないように連結される。

打ち込み円柱19も、打ち込み要素3のブロック7内の凹部12と、作動部材4の本体13内の凹部18とによって形成される誘導チャンネル内に回転可能なようにはめ込まれる。この誘導チャンネルの直徑は打ち込み円柱19の直徑にはば等しい。

打ち込み円柱19は、その周囲の表面に最終端の溝23を有する。溝23は、上方の起点P1から、そこから軸方向に間隔が開けられた下方の折り返し点P2まではば螺旋形で延在し、そしてそこから上方の折り返し点とも見なされ得る上方の起点P1へほぼ螺旋形で戻る。2つの折り返し点P1とP2の間の間隔は、溝23に沿って1.5回転である。從って溝23は打ち込み円柱19の周りで3回転する。溝23は、ゼロ・ピッチを有し、且つそこに下方の折り返し点P2がある下方の溝部分を有する。この前の部分は約120°の広がりを有する。

円形の円盤部とそれと一緒に形成される細長い断面の形状のピン部とから構成されるプラスチック材料の溝従動体24が打ち込み要素3に連結される(図8参照)。溝従動体24の円盤部は、ブロック7内の凹み12の底部に嵌められる円形の孔25内に回転可能なようにはめ込まれ、溝従動体24のピン部は打ち込み円柱19の最終端の溝23内に延在している。

溝従動体24に類似したプラスチック材料の溝従動体26が作動部材4に連結される(図9参照)。溝従動体26の円盤部は本体13の凹み18の底部に嵌められる円形孔27の中に回転可能なようにはめ込まれ、溝従動体26のピン部は打ち込み円柱19の最終端の溝23の中に延在する。

図示された実施例に於て、2つの溝従動体24及び26は直徑方向に向い合う関係で配置される。起動位置で(図1参照)、溝従動体24のピン部は溝23の上方の折り返し点P1に配置され、一方溝従動体26のその下方の折り返し点P2に配置される。

色々な構成要素が図1に示される起動位置にある時に、紙シートの束6がステーブラ内に置かれると、マイクロスイッチが作動して、伝導装置を介して矢印Pの方向に歯車22と、従って打ち込み円柱19とを回転させる電気モータとを始動する。

打ち込み円柱19が、図1に示される起動位置から図2に示される位置まで約180°回転される時、打ち込み要素3は成る距離を下方へ向って変位させられ、一方作動部材4は成る距離を上方へ向って変位させられる。この変位中に、作動部材4の腕部15は折り曲げ機構に具備されるブロック(図示されていない)を解放し、このブロックはばね板(図示されていない)によって上方へ動かされて、紙シートの束6をマガジン2に下から当接させられる(図2参照)。ブロックはステーブル留め作業の間、この位置に維持される。

打ち込み円柱19が紐いて回転すると、打ち込み要素3は更に下方へ動かされ、その結果その打ち込み体9は最前端のス

テーブル5に当り、その脚部が紙の束6を貫通するように打ち込む。それからステーブルの脚部の自由端部は、次々折り曲げ機構の部分であり、且つステーブル留め作業のこのステージで固定されたままにされる回動する(pivotal)アンビル部材(図示されていない)と係合する。図3はステーブル脚部の端部がアンビル部材に丁度到達した位置を示す。打ち込み円柱19が図3に示される位置から図5に示される位置まで回転する間に、打ち込み要素3は、同時に固定されたアンビル部材がステーブルの端部を内側へ予め曲げるようステーブル5の脚部を紙シートの束の中へ打ち込み続ける。打ち込み円柱19が図5に示される位置から図6に示される位置まで回転する間に、打ち込み要素3は、第23の下方の端部分に到達するその前従動体21のピン部によってステーブル5の打ち込みを完了し、それで打ち込み要素3はその変位の下方位置に到達する。打ち込み円柱19が図5に示される位置から図6に示される位置まで回転する間に、作業部材4の脱部15は、それらの上方への変位中に、アンビル部材に到達し、アンビル部材を回動し、その結果これらによってステーブルの脚部の折り曲げがもたらされる。折り曲げの間、その前従動体のピン部はゼロ・ピッチを有する第23の下方部分に位置させられるので、打ち込み要素3はその下方位置に維持される。

図6に示される位置で、打ち込み円柱19は1.5回転、回転させられてしまっており、打ち込み要素3の前従動体のピン部は第23の下方の折り返し点P2に位置され、一方作業部材4の前従動体のピン部は第23の上方の折り返し点P1に位置さ

せられる。そして折り曲げが完了する。

打ち込み円柱19の抜けられる回転、即ち1.5回転の間に、打ち込み要素3及び作業部材4はそれらの起動位置に戻される(図1参照)。作業部材4の下方への変位中に、その脚部15はアンビル部材を回動させて、それらの起動位置へ戻し、ばね板の作用に對抗して、折り曲げ機構のブロックを下に動かして、その起動位置へ戻すであろう。作業部材4がその下方の位置に到達する時(図1参照)、それはマイクロスイッチに作用してモータを止める。

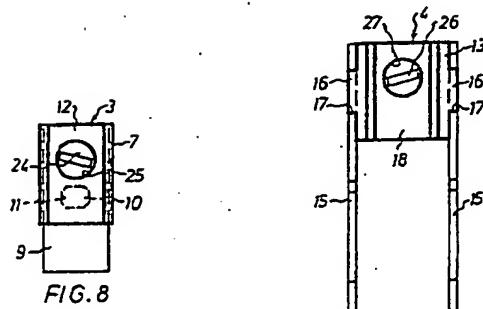
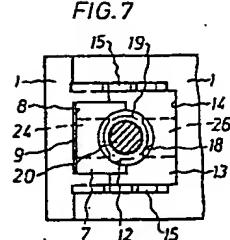
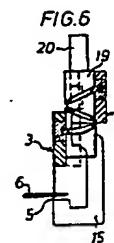
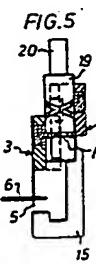
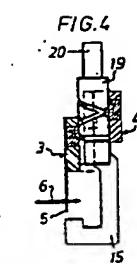
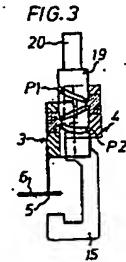
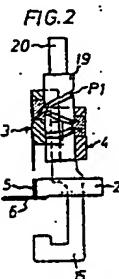
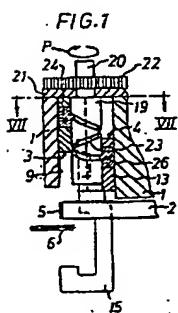


FIG.9

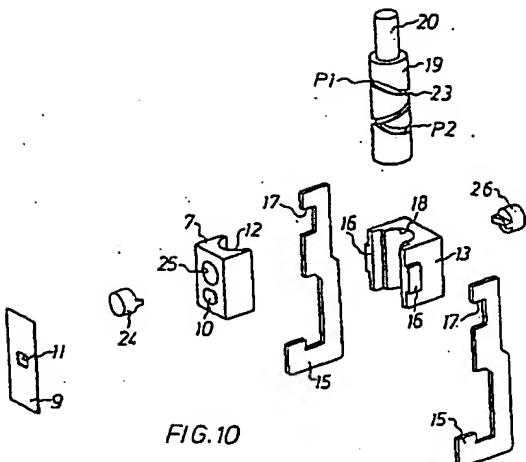


FIG. 10

国際特許報告		International application No. PCT/SE 93/00164
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER		
IPC6: B25C 5/15, B25C 1/08, B25F 7/26, B25F 7/11 According to International Patent Classification (IPC) or its co-operation classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
IPC6: B25C, B25F Classification names and numbers (separated by commas followed by classification codes) SE, DK, F1, H0 classes as above Other class fields omitted during our international search (name of class and, where practicable, search terms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Country:	Character of document, with indication, where appropriate, of the relevant passage	Reference to which No.
4	EP. 41 0364122 (SENCOMP), 28 April 1990 (18.04.90)	1
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of this C. <input checked="" type="checkbox"/> See patent family chart.		
* General description of prior documents: * A Prior art document which may be relevant to the present invention but which is not included in the list of prior art documents. * B Prior art document which is not relevant to the present invention but which may be relevant to another document which is not included in the list of prior art documents. * C Document which may have some relevance to the present invention or which is cited as evidence for the date of another document or which is cited as evidence for the date of the present invention. * D Prior art document which is not relevant to the present invention but which may be relevant to another document which is not included in the list of prior art documents. * E Document relating to general knowledge, use, exhibition or other commercial practice prior to the international filing date but less than one year prior to the priority date.		
Date of the earliest application of the international search		Date of mailing of the International search report
15 June 1993		09-07- 1993
Name and address of the ISA/ Search Office		Authorized officer
Swedish Patent Office Box 8000, S-102 42 STOCKHOLM Telephone No. +46 8 5 646 01 80		Maria Lundström Telephone No. +46 8 772 23 00
Form PCT/MLA/10 (second sheet) (July 1972)		

国際特許報告			
International application No. 23/06/93 PCT/SE 93/00164			
Patent document cited in search report	Publication date	Priority date(s)	Publication date
EP-A1- 0364122	18/04/90	AU-B- 612296	18/07/91
		AU-A- 4150629	28/04/90
		JP-A- 2145270	04/06/90
		US-A- 4854482	08/03/90

Form PCT/MLA/10 (second sheet) (July 1972)

BEST AVAILABLE COPY

フロントページの続き

(81) 指定国 EP(AT, BE, CH, DE,  
DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, M  
C, NL, PT, SE), OA(BF, BJ, CF, CG  
, CI, CM, GA, GN, ML, MR, SN, TD,  
TG), AT, AU, BB, BG, BR, CA, CH,  
CZ, DE, DK, ES, FI, GB, HU, JP, K  
P, KR, LK, LU, MG, MN, MW, NL, NO  
, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SK,  
UA, US

【公報種別】特許法第17条第1項及び特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成8年(1996)6月25日

【公表番号】特表平7-505339

【公表日】平成7年(1995)6月15日

【年通号数】

【出願番号】特願平5-517350

【国際特許分類第6版】

B25C 5/02 Z 7181-3C

B27F 7/11 9422-3C

手続補正書

平成7年10月19日

特許庁長官 桥川 佑二 氏

1. 事件の表示

特願平5-517350号

2. 発明の名称

ステーブラの打ち込み装置

3. 補正をする者

事件との関係 評議出願人

名前 イサベルク・ユーピー

4. 代理人

東京都千代田区霞が関3丁目7番2号

郵便内外伝特許事務所内

〒100電話 03(502)3181 (大代表)

(5847)弁理士 鮎江 武雄



5. 自免補正

6. 補正の対象

明細書、請求の範囲

7. 補正の内容

(1) 特許請求の範囲を記述の通り訂正する。

(2) 明細書第1頁第18乃至20行の「U型のステーブル用のステーブラでは、ステーブルを曲げ(折り返し)終わった後に、その全長に亘って均一の厚さを有するように折り曲げ機構、即ちステーブル…」を「U型のステーブル用の公知のステーブラでは、折り曲げ機構、即ちステーブルを完全に曲げ(折り返し)て終った後では、それらの全長に亘って均一の厚さを有するようにステーブル…」に訂正する。

## 請求の範囲

1. 紙シートの東のような目的物(6)にステープル(5)を打ち込むためのステープラの打ち込み機構で、前記ステープラはフレーム(1)と、フレーム内に配置され、ステープル(5)を有するマガジン(2)と、マガジン(2)から更にステープル(5)を押出して、前記ステープルを目的物(6)へ打ち込み、且  
打ち込みの目的のために、打ち込み機構によって往復運動させられるように選用される打ち込み要素(3)とを有する、打ち込み機構であり、フレーム(1)に回転可能なように装着され、打ち込み円柱(19)の周囲の裏面に於て起点(11)から、前記起点から軸方向に開閉を開けて配置された折り返し点(12)まで延び螺旋型で延在し、前記折り返し点から前記起点(11)まではば螺旋型で延る螺旋の構(23)を有する前記打ち込む円柱(19)を具備し、前記構は打ち込み要素(3)に連結されて、打ち込み円柱(19)の回転の際に、打ち込み要素を往復運動させるための螺旋動作(24)を収容することを特徴とする前記打ち込み機構。
2. 構(23)が、折り曲げ装置を作動させるための往復運動可能な作業部材のようない第2の往復運動可能な要素(4)に連結される第2の螺旋部体(14)を収容して、打ち込み円柱(19)の回転の際に、打ち込み要素(3)の往復運動と共に前記構(4)の往復運動を生じさせることを特徴とする請求項1記載の打ち込み機構。
3. 構(23)が打ち込み円柱(19)の周りに1周に亘って延在していることを特徴とする請求項1或いは2の何れか1項記載の打ち込み機構。
4. 構(23)が打ち込み円柱(19)の周りに数周に亘って延在していることを特徴とする請求項1或いは2の何れか1項記載の打ち込み機構。